

とよなか女性防災プロジェクト2014

【事業実施主体】

一般財団法人とよなか男女共同
参画推進財団

【連携団体】

豊中市危機管理室、豊中市人権政策室、一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、NPO法人とよなか市民活動ネットきずな、公益財団法人とよなか国際交流協会、校区福祉会、公民分館協議会、男女共同参画社会をつくる豊中連絡会、豊中市自主防災活動団体連絡会議、豊中市地域教育協議会連絡会、豊中市PTA連合協議会母親委員会、豊中市婦人団体連絡協議会、豊中女性防火クラブ連絡協議会、朗読人ひまわり

【目的】

阪神・淡路大震災から20年を振り返り被災体験を語り継ぐとともに、東日本大震災の女性支援に学び「女性と防災」について考え、地域の防災力をアップする。「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針防災指針(内閣府)」の実現をめざし、豊中の課題を掘り起こすとともに、女性の意見をいかした提言書、冊子等を作成し、2014年度末に改訂される豊中市地域防災計画へ提言する。

【主な取組】

- 1、**地域へ連携を呼び掛け**…行政へ連携を呼び掛けた(豊中市危機管理室等)。「女性と防災を考える会」の委員に呼び掛けた(中間支援組織、地域活動団体、市民団体、すてっぷ登録団体、自主防災組織等の女性代表)
- 2、「**女性と防災を考える会**」を結成…豊中市で活動する女性団体の代表12人で構成。
- 3、**地域へ講座参加を呼び掛け**…行政、中間支援組織、地域活動団体、市民団体、すてっぷ登録団体、自主防災組織、自治会、校区福祉会などへチラシ配布、広報誌、HP、情報誌、新聞、ミニコミ紙などで講座参加を呼び掛けた。
- 4、「**女性と防災**」に関するシンポジウム、ワークショップ、映画上映を実施
- 5、「**女性と防災を考える会**」を開催…「女性と防災に関する提言書」を作成。
- 6、「**女性と防災に関する提言書**」「**とよなか女性防災ノートPARTⅡ**」「**女性と防災**」HPを作成
- 7、**2015年3月の豊中市地域防災計画改定へ向け、豊中市長へ「女性と防災に関する提言書」を提出**

事業実施概要①

1、2014年11月8日(土)

シンポジウム 1.17から、3.11へ つなげよう防災女子力 ～東北に学ぶ、未来をつくる～

内容：阪神・淡路大震災20年を振り返り、地域を元気にする防災について考えた

講師：相川康子(特定非営利活動法人NPO政策研究所)

パネリスト：丹羽麻子(NPO法人ウィメンズスペースふくしま)
加藤志生子(仙台市男女共同共同参画推進センター)

特別報告：小倉博(豊中市危機管理室)



シンポジウム

2、11月27日(木) 女性の視点で考える防災ワークショップ ～意思決定の場に女性の声を届けよう～

内容：被災体験から女性視点の必要性を考えた

講師：浅野幸子(早稲田大学地域社会と危機管理研究所
招聘研究員)

3、12月9日(火) 女性と防災を考える会

内容：シンポジウム、ワークショップで出た意見をもとに「女性と防災に関する提言書」を作成した
参加団体：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、NPO法人とよなか市民活動ネットきずな、公益財団法人とよなか国際交流協会、校区福祉会、公民分館協議会、豊中市自主防災活動団体連絡会議、豊中市地域教育協議会連絡会、豊中市PTA連合協議会母親委員会、豊中市婦人団体連絡協議会、豊中女性防火クラブ連絡協議会、すてっぷ登録団体(男女共同参画社会をつくる豊中連絡会、朗読人ひまわり)代表者、豊中市危機管理室、豊中市人権政策室

事業実施概要②

4、12月13日(土) ドキュメンタリー映画「うたごころ 2012」上映会＋監督講演会、交流会

内容: 南三陸町の女子高校生の生きる姿に学ぶ

5、12月25日(木) 女性と防災を考える会代表者会議

内容: 「女性と防災に関する提言書」の最終確認

6、2015年1月15日(木) 「女性と防災に関する提言書」を豊中市長へ提出

内容: 「女性と防災を考える会」代表者と共に、市長へ直接提出

→いくつかの項目が、2015年3月に改訂された
「豊中市地域防災計画」に採用された

7、1月15日(木)～24日(土) 「女性と防災に関する提言書」、冊子「とよなか女性防災ノートPART II」、 すてっぷHP「女性と防災」、報告書を作成

内容: 冊子「とよなか女性防災ノートPART II」は、地域の避難所運営マニュアル作成に役立つ構成

→2015年度は地域への出前講座で活用



「女性と防災に関する提言書」
を豊中市長へ提出



事業効果

- 1、女性の意見(「女性と防災に関する提言書」)を、意思決定の場(豊中市防災会議)へ提言した。
- 2、豊中市地域防災計画改定版に「女性と防災に関する提言書」の内容が反映された。
計画総論部分において、国の計画に則し男女共同参画の視点が明確になった
- 3、地域で活動する12団体を代表する女性リーダーと連携することができた。
- 4、一連の講座は参加者も多く、満足度も高かった。(アンケート調査より)
＜シンポジウム＞・参加者54人(定員45人)・満足度92.8%
＜ワークショップ＞・参加者43人(定員35人)・満足度85.7%
＜「うたごころ2012」上映会＞・参加者66人(定員150人)
- 5、地域の避難所運営マニュアル作成に活用できる「とよなか女性防災ノートPARTⅡ」を作成した。

今後の課題

- 1、豊中市地域防災計画へ「女性と防災に関する提言書」のいくつかは反映されたが、全て採用されたわけではない→「女性と防災を考える会」のネットワークを継続し今後も提案していく。
- 2、地域で活動する女性防災リーダーの育成→2015年度、女性と防災講座の実施。
- 3、地域の避難所運営マニュアルへ女性視点を入れる→ 豊中市危機管理室と連携し、「とよなか女性防災ノートPARTⅡ」を使った出前講座の実施。
- 4、豊中市における「女性と防災」の取組を紹介した事例集の作成→市民からの要望。実際に地域で活躍する女性たち、具体的な事例を紹介。